

令和4年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山短期大学

代表学生：古島 帆夏

指導教員：明柴 聡史

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>子どもの権利を子育てと保育に浸透させる －保護者・保育者・学生の視点－</p>
<p>研究概要</p>	<p>近年、子どもの権利が重要視されてきている。そこで本研究では、アンケート調査やフィールドワーク調査を中心に、子どもの権利を尊重した保育の浸透の程度や実際、子どもの率直な声、保育者・保育学生の理解などから課題を明らかにする。</p>
<p>これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>これまでの活動として、昨年7月頃から「南砺市子どもの権利条例策定委員」のサポーターとして、小学生から高校生までの子どもたちの権利に対する声・意見等を聞き、子どもの権利の現状をともに考え、南砺市の権利条例の策定に取り組んできた。また、本学の幼児教育学科の学生や富山県内のいくつかの法人にご協力いただき、学生・保育者を対象にした、子どもの権利への理解度を図るためのアンケート調査、そして年長児を対象に、子どもの権利条約の4つの柱(生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利)を主とした内容の質問をし、子どもたちの声を聞くことを行った。その結果、学生と保育者では権利に関する理解度や、保育場面での権利の活かし方の考え方の違いが見られた。子どもたちからは、生活する中での思いや周りの大人に対する要望等を聞くことができた。 今後は、引き続きアンケート調査に取り組み、収集した意見等を分析していく予定である。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	<p>当初、子ども・学生・保育者・保護者の4つの視点からの調査を予定していたが、感染拡大の影響により保護者からの調査が難しくなった。</p>



富山県内の保育園でのフィールドワークの様子



子どもの権利に対する子どもたちの考え



南砺市子どもの権利条例策定委員での活動の様子